

ふな状た

No.179
元年/7

発行：山形県舟形町議会
令和元年7月26日

表紙のことは
19Pにあります。

待ちに待った鮎釣り解禁

新議会構成	2P
5月臨時会・6月定例会概要・質疑応答 ..	4P
町政を問う 一般質問に6議員	7P
第11回議会報告会を開催しました	14P
議会報モニターアンケートより	16P
議会活動	18P
えがったなあ・町民の声・編集後記	20P



今シーズン初の鮎

議会新構成決まる

議長 八 太氏（再任）
副議長 齋藤 好彦氏（新任）

5月2日の臨時会にて、議長、副議長の選挙を行いました。各常任委員会の所属議員も決まり、新たな決意でよりよい町づくりに取り組みます。



7番 佐藤広幸 議員



6番 奥山謙三 議員



1番 叶内昌樹 議員



8番 叶内富夫 議員



5番 石山和春 議員



9番 齋藤好彦 議員



4番 小国浩文 議員



10番 八 太 議員



3番 伊藤欽一 議員



2番 荒澤広光 議員

質問者席

常任委員会とは…

議会が条例で定め常設する委員会です。議員は必ずいずれかの常任委員会に所属します。広範多岐にわたり複雑化している行政事務を各課別に所管し、能率的に審議調査するため、令和元年5月より次の3常任委員会に改めました。

- 総務文教常任委員会
- 産業振興常任委員会
- 議会広報常任委員会

各常任委員会は、所管事務調査と請願・陳情などの審査を行います。

※所管事務調査…それぞれの委員会が、担当する町の予算や事業について調査すること。

議会運営委員会

議会の運営、会議規則、委員会に関わる条例等の事項及び議長の諮問に関する事項を所管。

- 委員長 奥山 謙三
- 副委員長 石山 和春
- 委員 佐藤 広幸
- 委員 伊藤 欽一

産業振興常任委員会

まちづくり課、農業振興課、地域整備課、農業委員会に関する事項を所管。

- 委員長 石山 和春
- 副委員長 小国 浩文
- 委員 齋藤 好彦
- 委員 叶内 富夫
- 委員 荒澤 広光

総務文教常任委員会

総務課、住民税務課、健康福祉課、教育委員会及び会計室に関する事項を所管。

- 委員長 佐藤 広幸
- 副委員長 伊藤 欽一
- 委員 八 太
- 委員 奥山 謙三
- 委員 叶内 昌樹

議会広報常任委員会

議会報の企画、編集及び発行に関する事項、ならびに広報広聴に関する事項を所管。

- 委員長 伊藤 欽一
- 副委員長 小国 浩文
- 委員 石山 和春
- 委員 荒澤 広光
- 委員 叶内 昌樹

議長あいさつ

議長 八 太

今年には議会議員の改選期となり、4月の統一地方選挙により町議会も2名の新しい議員が誕生し、改めて10名の構成で5月から「令和」という新時代と共にスタートしました。私が、引き続き議長という重責を担わせていただくことになりました。身を引き締め、初心に立ち返り全力を傾注してまいります。人口減少社会と言われる中で、住民の皆様が幸せを実感できる町づくりに向け、議会としても行財政執行に的確に判断を示せるよう、自らの改革も含め議員一丸となって努めてまいります。

今後とも町民の皆様の御指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

副議長あいさつ

副議長 齋藤 好彦

今般の改選に伴い副議長という重職に就かせていただき、改めて責任の重さを実感している次第です。議長の補佐役はもちろんですが、舟形町議会基本条例に則り、一議員としての役割と責任を自覚し常に自己研鑽に努め町民の負託に応えるため、絶えず努力する決意で臨みたいと思っております。本年は今後10年間の舟形町の将来像を描く「舟形町総合発展計画」の策定の年です。これまで取り組んできた町民参加型の町内会ビジョンを基本に議会と行政が一体となり、安全安心な住みよい町づくりに向け議論を深められる環境づくりに心掛けたいと思っておりますので、今後とも議会に対するご理解とご指導をお願いいたします。

議会選出委員等

- 最上広域市町村圏事務組合議員
監査委員 叶内 富夫
佐藤 広幸



第2回臨時会
5月2日
第3回臨時会
5月13日
6月定例会
6月4日～7日

令和元年度一般会計補正予算

総額3億1890万円

6月定例会は、4日から7日までの会期で開催され、6人の一般質問に続き、一般会計補正予算等、全議案を原案どおり賛成多数により可決しました。

主な事業（令和元年度補正予算）

- ▽空き家対策事業・・・・・・・・・・750万円
（空き家除却事業補助金の増額）
- ▽農業振興事業・・・・・・・・・・7125万円
（強い農業・担い手づくり総合支援交付金の増額）
- ▽プレミアム付商品券事業（国庫予算事業）
・・・・・・・・3172万円
（消費税対策の商品券事業“低所得者・子育て世代対象”）
- ▽地方創生型若者向け定住・移住住宅整備事業
・・・・1億9500万円
（地方創生拠点整備交付金活用事業）
- ▽消防施設事業・・・・・・・・・・338万円
（福寿野消防ポンプ小屋屋根改修・沖の原地区消火栓新設）

主な審議された議案

- 第2回臨時会**
- 平成30年度一般会計補正予算の専決処分の承認
 - 国民健康保険補正予算の専決処分の承認
 - 一般会計補正予算繰越明許費計算書の報告
 - 監査委員の選任
- 第3回臨時会**
- 税条例等の一部を改正する条例の専決処分の承認
 - 国民健康保険税条例の一部を改正する専決処分の承認
 - 介護保険条例の一部を改正する専決処分の承認
 - 小型動力ポンプ付消防積載車の物件購入契約の締結
（相手方・株式会社社長谷川ポンプ製作所）
- 6月定例会**
- 平成30年度（株）舟形町振興公社経営状況の報告
 - 令和元年度一般会計補正予算
 - 町有財産の取得
 - 固定資産評価審査委員の選任

※繰越明許費とは……年度内に事業等が終わらない見込みのあるものについて、翌年度に繰り越して事業をするための経費。

質疑応答

第2回臨時会

国民健康保険特別会計事業勘定補正予算の専決処分の承認

議員 退職被保険者高額療養費の減額理由については。

健康福祉課長 平成30年度から国民健康保険の財政運営が、市町村から県に移行したことにより、決算の処理が変更になったこと、1月までの間、高額療養費の支給対象者がいなかったためです。

※1 退職者医療制度とは……退職者（被扶養者含む）が、それまで加入していた社会保険から国民健康保険に加入したとき、要件に該当すると受診した医療費の一部を社会保険が負担し、結果的に国保の財政負担が軽減される制度。

※2 高額療養費制度とは……1日から月末までにかかった医療費の自己負担額が高額になった場合、一定の金額（自己負担限度額）を超えた分が、あとで払い戻される制度。

第3回臨時会

税条例等の一部を改正する条例の制定についての専決処分の承認

議員 町にとって非常に大きい財源のふるさと納税、3割以下の返礼品の対応は。

まちづくり課長 3割以下の返礼品と諸経費については、総務省の通知または県からの情報提供をもとに、適切に対応できるように取り組んでいきたいと思っています。

小型動力ポンプ付消防積載車の取得に係る物件購入契約の締結

議員 消防積載車落札額や装備、性能も含めて、他市町村と比較はしているのか。

住民税務課長

他市町村においては軽車両積載車を配備している所もあり、大きさもまちまちですが、同車両を比較した場合でも妥当な金額とっています。



野町内・福寿野町内に配備される消防積載車

6月定例会

（株）舟形町振興公社経営状況の報告

議員 温泉の受付に職員がいない時があり、発券機で購入しなくて入ることが可能だとの疑念の声があるが、対応は。コテージ収入は前年対比114%増加している。お客様からはコテージは魅力的で、売りの一つであると思うが今後の計画は。

まちづくり課長 受付でのお客様への対応は再度職員に指導し、声掛け等の対応を行なっていきます。コテージは郡内でも魅力的な施設と認識しており、今後とも魅力を創出しながら経営努力を行います。



入浴の際は発券機で購入を

町政を問う

一般質問に6人が登壇

一般質問とは

定例会において、各議員が町民の代表として行財政全般にわたり町当局の考え方や疑問をたずねることです。単に疑問を晴らし事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策の見直し、新規政策を提言する、議員の重要な活動です。

奥山 謙三 議員

8ページ

- 1 定住促進住宅団地整備事業の必要性を問う
- 2 旧富長小学校校舎活用策の検討はしているのか

叶内 昌樹 議員

9ページ

- 1 物価上昇及び消費税増税に対する町の対策を問う
- 2 路肩及び歩道の安全と管理について問う

伊藤 欽一 議員

10ページ

- 1 交通事故防止対策は実行するのか
- 2 スクールバスの乗降場所の検討を



男子チーム 念願の初優勝おめでとう

石山 和春 議員

11ページ

- 1 認知症対策は

荒澤 広光 議員

12ページ

- 1 地域内での子育て支援、交流の場を

佐藤 広幸 議員

13ページ

- 1 町長選挙への出馬の意向を問う
- 2 小規模農家を守る方策は



最上地区中学校駅伝競技大会で好成績の舟中チーム



多くの皆さんから利用されているあゆっこ村広場

議員 加工所収支で、加工収入は前年度比較で30万円減少しているが、加工所仕入は172万円増額している。その理由は、

まちづくり課長 収入は生産、加工した商品の売り上げで、仕入れについては商品にするための鮎青菜等の原材料の仕入れ金額であり、収入と加工所仕入れ金額は一概に比例はしないと判断しています。

議員 若あゆ温泉・コテージ、加工所、観光物産センターへ支出している補助金、委託料の内容がわかりづらい。この違いは、

まちづくり課長 加工所は指定管理者での運営なので、補助金になります。温泉・コテージの委託料は、あゆっこ村広場、テニスコート、グラウンドなど利益を伴わない施設の管理委託になります。物産センターは指定管理者規定がないので、人件費を含め委託料になります。

令和元年度一般会計補正予算

議員 空き家除却事業補助金750万円の内容と危険空き家の把握について。

住民税務課長 当初予算の300万円で4戸250万円が交付決定していますが、現在8戸の相談が来ていますので追加補正が必要となりました。また、非常に危険と判断している空き家は現在4戸確認しています。

舟形町防災会議条例の一部を改正する条例の制定

議員 舟形町防災会議のうち、町職員はどのような方々が入っているのか。

住民税務課長 副町長、総務課長、まちづくり課長、健康福祉課長、農業振興課長、地域整備課長、会計管理者、教育課長、議会事務局長、住民税務課長(兼危機管理室長、防災拠点施設整備室長)になります。

町有財産の取得

議員 福祉避難所建設予定のハリヨ地区の安全確認はできているのか。

災害対策室長 県から安全(浸水想定区域外)である旨の確認をとっています。

議員 防災行政無線デジタル化改修工事は、何社指名で落札率は。また、町民から聞こえないという声があるが、どうクリアしていくのか。

防災行政無線デジタル化改修工事 請負契約の締結

住民税務課長 3社指名で落札率は98%です。聞こえないのは外のスピーカーだと思えます。数箇所については出力アップで対応し、戸別受信機で補填していく予定です。

議員 戸別受信機は、録音はできるのか。また、交換したものは町で回収するのか。

住民税務課長 自動録音機能はついていません。交換したものはすべて回収します。



更新される予定の戸別受信機



叶内 昌樹 議員

物価上昇及び消費税増税に 対する町の対策を問う

町は地域経済活性化を目的とした支援



通年対応可能な消費者還元対策はないものか

質問 昨年度から人件費・原材料費・輸送コストの上昇で物価上昇が止まらない状況を考えると、税率が上げられる前に物価が上がり家計への負担が重くなると思います。舟形町の還元対策として、商工で利用可能な金券または商品券以外での町が考えている施策はあるのか質問します。

であり、国が考えている還元対策以外、町独自の対策は現在のところ考えていません。議員ご指摘の通り、物価上昇に伴ってどの程度家計に影響が出るのか予測ができません。国の対策としては軽減税率の導入のほか、住民非課税者や3歳未満の世代への支援、地域における消費を喚起するプレミアム付き商品券

質問 健康推進や移動手段で自転車や電動カートを歩行者と同様に利用する自転車歩行者道・路側帯の安全性が不十分に感じます。町道の歩道修復や路側帯拡張の計画や対策はあるのか。また、県・国道の自転車歩行者道（急勾配・傾斜）に対して安全面の働きかけはどのような施策をしているのか。舟形町は自然豊かな地域ではあるが、自転車歩行者道の除草等で景観を重視する管理助成

路肩及び歩道の安全と管理について問う
町民に安全・安心な道路整備を推進

事業の実施、消費者還元事業、幼児教育無償化が予定されています。町としては今後も地域経済活性化を目的とした事業に取り組みとともに、商工会関係機関等と連携を図りながら消費者、事業者からの相談や事業支援に取り組んでいきます。

などを活用した有償ボランティア育成等の対策を検討していただきたい。
町長 歩道整備は、計画する路線が通学路であることが基本条件となりま



▲除草剤散布で景観が損なわれる

(写真上・右) 道路愛護団体事業

まず、町道の歩道整備については、舟形一の関線に着手し、令和2年度完成予定です。次に、国・県道ですが、新たに国道13号の舟形地区に歩道が整備されることとなり、5年以内の完成を目標と



奥山 謙三 議員

定住促進住宅団地整備事業の必要性を問う

子育て支援住宅退去後も町に永住していただくため必要



15区画宅地造成される予定地 (ハリヨ)

質問 町では、本事業を行う背景として、子育て支援住宅退去後も引き続き舟形町に定住していただくこと、また町外からUJターナー者の受け入れを促進するために行うとしています。売買する価格は、平米単価、坪単価はいくらを想定していますか。早期に完売なる根拠をお聞かせください。

町長 現在、子育て支援住宅に入居しているのは3棟15世帯で、期限到来後の宅地確保において心配している状況となっております。子育て支援住宅の入居者に退去後も引き続き町に永住していただくため、宅地造成を実施し定住を図ることとした。

財源は、当初予算では過疎対策事業債の充当を想定しており、現在起債計画の県審査を受けている段階です。本起債は交付税措置率70%となっており、後年度に普通交付税として町に交付されます。分譲価格は隣接のひだまりタウンの分譲価格等も参考にし、退去後に新築する方には優遇措置等も検討したいと考えて

需要見込みについては、期限付き子育て支援住宅入居者の宅地であることから、すぐに完売するとは想定していませんが、売れ残ることは無いと考えています。
旧富長小学校校舎活用策の検討はしているのか
役場機能として利用することは考えていないが、地域の皆様の参画や提案に期待

質問 旧富長学区に住む者としては、公共施設として活用されることにより拠点施設となり、富長地区の地域コミュニティが進むことが期待されると思います。役場機能として利用できないか質問します。



皆の知恵を結集してより良い施設にしよう

町長 町では、役場機能として利用することは、現在のところは考えていません。施設の利活用による地域コミュニティの醸成は、行政だけでなく、地域住民の皆様との積極的な参画や提案に

より進めていくことが重要と考えています。今年度実施予定している旧小学校区単位のワークショップなどで、施設の利活用についても多くの意見が出ることを期待したいと思います。



石山 和春 議員

認知症対策は

地域ぐるみで支え合える地域づくりを推進する



詳しく説明されているガイドブック

認知症は決して他人事ではなく、厄を避ければ誰でも起こりうる身近な病気です。この認知症安心ガイドブックは、認知症について正しく理解していただき、認知症に対する不安を少しでも減らすことができるよう作成しました。認知症が疑われる症状が発生した場合や病状の進行に合わせて受けることができる情報をまとめましたので、認知症の人やその家族が安心して地域で暮らしていくためにご利用ください。

舟形町地域包括支援センター
(舟形町役場健康福祉課内)
☎32-8762(FAX兼)

これは、認知症の人や家族を温かく見守る「認知症サポーター養成講座」の認知症施策の具体的な取り組みのひとつです。

「認知症サポーター」として養成する事業です。平成30年度末で、受講した人数が延べ769人となっています。また、「認知症カフェ」の事業にも取り組んでいます。「認知症カフェ」は、気軽に相談したり、情報を得ることができる場所を設置する事業で、冬期間を除き毎月1回開催しています。「百歳体操」も、現在18団体が地域で自主的に活動しています。このような取り組みを通じて、認知症に対する正しい情報や知識が普及し、

質問 平成24年の国の調査では、70歳〜79歳までの認知症の人の割合が約18%になっています。6年後には65歳以上の5人に1人、約700万人が認知症になるとの推計があり、大きな社会問題として捉えなければなりません。町は、認知症に対する不安を少しでも減らし安心して地域で暮らしていくために、「認知症安心ガイドブック」を配布しました。

町長 65歳以上の人口は2074人、高齢化率は38.9%です。10年前と比較すると人数は23人増加、高齢化率は7%の増加です。

質問 なぜ事故が起きた箇所が優先されないのか。

町長 県道の一の関信号

認知症サポーター養成などの施策については、国では「新オレンジプラン」を平成26年度に策定し、山形県でもこれを受けて「山形県認知症施策推進行動計画」を策定しています。

町の認知症対策の取り組みは、国、県の計画を受けて、第7期舟形町介護保険事業計画の中に位置付け、対策を実施しています。

「認知症サポーター」として養成する事業です。平成30年度末で、受講した人数が延べ769人となっています。また、「認知症カフェ」の事業にも取り組んでいます。「認知症カフェ」は、気軽に相談したり、情報を得ることができる場所を設置する事業で、冬期間を除き毎月1回開催しています。「百歳体操」も、現在18団体が地域で自主的に活動しています。このような取り組みを通じて、認知症に対する正しい情報や知識が普及し、

地域ぐるみで認知症対策について支え合っていくような地域づくりを推進していきます。



正しく理解し支援の輪を広げよう



伊藤 欽一 議員

交通事故防止対策は実行するのか

要望を踏まえ実施



ラインが消え横断歩道がわからない (幅町内コミセン前)

質問 去年の5月に長沢幅地内で小学生が車と接触する事故があり、本年4月には自転車に乗った中学生が車に衝突するという事故が起きています。昨年9月定例会で「交通事故防止の取り組みを早急に」という質問をしましたが、幅地内の横断歩道のラインはいまだに改善されず塗装が剥がれ横断歩道とわからない状況です。交通安全委員会で対策をすることが重要だと思えますが、町長の考えを伺います。

町長 昨年9月定例会でご指摘いただいた、県道の標識や横断歩道については、10月に舟形駐在所と相談し、新庄警察署を通して県の公安委員会に要望しています。4月に一の関信号機、中学校前等は既に塗装が終了しましたが、事故が起きた幅地内の横断歩道は当初の要望に入っていないと考えています。

質問 昨年9月定例会で指摘いただいた、県道の標識や横断歩道については、10月に舟形駐在所と相談し、新庄警察署を通して県の公安委員会に要望しています。4月に一の関信号機、中学校前等は既に塗装が終了しましたが、事故が起きた幅地内の横断歩道は当初の要望に入っていないと考えています。



県道を横断することなく安全に乗車できるスクールバス

町長 県道の一の関信号

質問 昨年9月定例会で指摘いただいた、県道の標識や横断歩道については、10月に舟形駐在所と相談し、新庄警察署を通して県の公安委員会に要望しています。4月に一の関信号機、中学校前等は既に塗装が終了しましたが、事故が起きた幅地内の横断歩道は当初の要望に入っていないと考えています。

町長 スクールバスの乗降場所は、旧町営バス停止と、保護者や地域の要望で設置された場所の2種類あります。バスの停留所は、停車や乗り降りの安全性を考慮しており、独自に設定している場所は、児童生徒の人数を踏まえ設置されています。乗降場所は最終的に教育委員会で決定しますが、場所の選定は保護者の意見をもとに地域の方々と同意を得た上で、要望を受け対応していきます。

め横断しようとした中学生が車と接触し、救急車で搬送された事故が起きています。危険箇所を再確認し、安全に乗降車ができるかの検討が必要と思いますが、町長の考えを伺います。



佐藤 広幸 議員

町長選挙への 出馬の意向を問う 再選を目指す



4年に1度、町民の審判を受ける

質問 令和元年の年が明けてすぐに町長選挙があります。森町長の二期目に向けての意向を伺います。また、県との交流を図りたいと副町長を県職員に来ていただいているが、交流は図られたか。

町長 これまで町民の皆様からいただいた励ましと信頼を胸に刻み、感謝の心を持ちながら、引き続き町政を担わせていただきたいと決意を固めたところです。「住んでい

質問 小規模農家の現状は、使用している機械が壊れたらやめるという機械の更新の問題、自分ができなくなったらやめるという後継者の問題がよくかれます。農家は田園の景観を含め、自然環境の保護や地域に残る伝統文化にも大きく影響を及ぼしているものです。その様な農家がいなくなってしまうことは、町の財産が失われていくことと考えます。小規模農家を守る方策として、規模の小さい農地でも基盤整備が進めばまだまだ耕作はできるかと考えますが、どの様に町は考えているのか。

町長 農業を継続していくには、農業機械の更新や後継者の確保が必要であり、特に小規模農家は大きな課題であると考えています。そこで、安価な中古農機を共同で利用できるように「中古農機導入促進事業」を実施しています。後継者の確保対策として、認定農業者以外の方に「園芸農業スタートアップ支援事業」など、町単独でも支援する体制を取っています。また、水稲栽培の中小規模農家にはかかせない小型トラクター



小規模農家にはかかせない小型トラクター

町長 私も地域の子供たちや父兄や家族が町内で遊び、交流の輪がますます広がりをを見せてほしいと考えます。地域内での子育てをはじめとした交流の場を重視し相談し取り組む



平成25年3月に閉校した旧堀内小学校跡地

町長 私も地域の子どもたちが遊べる遊具、休憩するベンチ等を整備すれば子供たちもお年寄りも集える場となり、この家の嫁さん、孫さんだけ分らないというような言葉が無くなるのではと考えますが、町の考え方を伺います。

町長 堀内橋の架け替え工事との関連で旧小学校跡地の活用を考えています。具体的な活用については、案を示し地域の方々から参画して

いたが、ワークシヨップのような形態で合意形成を図っていきたく考えています。ご指摘にもありますが、維持管理面の課題もあります。昨今、維持管理の不備で事故が発生している事例もあり、豪雪地域の当町では、維持管理に特に配慮が必要になります。

質問 少子高齢化が急激に進んでいます。舟形町での出生数は、平成29年度は21人、30年度は17人と急激に減少しています。せつかく舟形町に嫁いできてくれたお嫁さん、若いママさんたち、舟形町で生まれた子供たちがいつまでも暮らしていけるような環境の整備が必要だと思えます。町中央部にはチャイルドランド、

アユパークが整備されています。しかし、長沢、富長、堀内の旧学区には地域で子供たちの集える場が無いのが現状です。地区のワークシヨップでも意見がありました。小学校跡地を整備し、子供たちが遊べる遊具、休憩するベンチ等を整備すれば子供たちもお年寄りも集える場となり、この家の嫁さん、孫さんだけ分らないというよう

流の場の確保については、少子高齢化・人口減少という状況下、地域のつながりの希薄化が懸念されつながらの維持・継続の観点からもたいへん重要な内容と受け止めます。交流の場の一つとして、旧堀内小学校跡地で毎年、町無形文化財の堀内盆踊りが盛大に開催され交流の場となっています。私にとっても小学校跡地は思い出の場所であり、同時に堀内地区のコミュニティ形成を考えるうえで大切な場所と受け止めています。



毎年にぎやかな堀内盆踊り大会



荒澤 広光 議員

地域内での子育て支援、 交流の場を

地域の声を重視し相談し取り組む

質問 デマンドタクシーで、帰りが2～3時間待ちの時間がある。その苦情等を把握しているのか。

回答 苦情は聞こえています。今後、それを踏まえた運行計画や利用促進のためのPRに取り組んでいきます。(議会)

質問 新しい地域づくりの在り方はどう考えているのか。

回答 町内会単位での地域づくりをしてきましたが、戸数が減少している町内会は学区単位での連携も必要になってくると思います。(議会)

質問 舟形マッシュルームの臭気モニターの調査は、適切に実施し分析してほしい。また、調査結果は改善しているのか。

回答 徐々にですが改善はしていると思います。今後の対策は、今年度をめどに臭気の発生源を建物等で囲む予定をしています。これからも、町、議会としても臭気や汚水に関し注視していきます。(議会・危機管理室)

質問 ワンコイン検診は、人間ドック検診でも利用できるのか。また、受診率はどのくらいか。

回答 検診センターのドック検診でも利用できます。また、昨年の受診率は、胃がん25.3%、肺がん40.8%、大腸がん34.5%でした。早期発見のためにも多くの皆さんの受診をお願いします。(健康福祉課)



長者原公民館



洲崎公民館

質問 学校業務運営管理等について、町と舟形町振興公社の関わりはどのようになっているのか。

回答 振興公社は町が100%を出資し、町の指定管理者として若あゆ温泉、コテージ、加工所などを運営しています。今年度から、学校の業務員や調理師の待遇改善策として振興公社の社員に採用し、学校に出向しています。(総務課)

質問 体験実習館の日中の利用者を増やすため、町内町外の料金を同一にできないか。また、民俗資料館の入場料は無料でもいいのではないか。

回答 指定管理者として運営していますので、他公共施設使用料との整合性を調査するなどして検討していきます。(まちづくり課) 資料館の入場料については、類似施設の状態を参考に検討していきます。(教育課)

質問 下水道設備の老朽化に伴う計画的な修繕と、今後に備えた修繕費の積み立てはできないのか。

回答 維持管理費を使用料のみで賄うのは困難であり、積み立てをすることはできない状況です。修繕は、長寿命化計画に基づいて計画的に実施していく予定です。(地域整備課)

第11回議会報告会

3月19～20日に議会報告会を開催し、各会場でいただいた質問や要望事項を議員全員で検討し、町当局へ報告しました。主な質問と回答は次のとおりです。

議会に対する要望・意見

質問 議員提出の案件が5件あるが、どのような内容か。

回答 町長への政策提言、豪雨災害での支援要請、町長ができる専決処分の範囲についての3件と、核兵器反対に対するものと、種子法改正に伴う意見書2件の計5件です。(議会)

町に対する要望・意見

質問 現在計画している宅地造成の概要はどのような内容か。また、空き家の解体状況は。

回答 子育て支援住宅の退去後も、家を建て定住していただくために、近接した場所に15区画造成するものです。空き家については、危険と想定された家屋は28軒ありましたが、30年度中に9軒が解体されました。(議会)

質問 危険ブロック塀の撤去について、所有者には町が要請するのか。

回答 町が危険度合いや補助の内容等を所有者に説明し、撤去を促していきます。(議会)



長沢生涯学習センター



中央公民館

質問 都市防災施設整備事業と、福祉避難所の内容と規模について。

回答 防災拠点施設は保健センター隣接の町有地に、福祉避難所はハリヨ地区に建設を計画しています。福祉避難所は、災害時に配慮が必要な高齢者、身障者や乳幼児など、180名ほどの収容規模を想定しています。(議会)

質問 防災無線の音声が聞こえない場所があるので、検討してほしい。

回答 気象条件や風向き等により聞こえない場合があるので、調査しスピーカーの出力をアップする予定です。また、自動録音機能付きの戸別受信機を全戸更新する予定です。(危機管理室)

質問 舟形横町の町道は通学路になっているが、水路蓋が鉄筋格子で、危険なので改善してほしい。

回答 地元からの要望で鉄筋格子を設置してきましたが、今後、学校及び地域の方と協議していきます。(地域整備課)

4、議会報を通じて欲しい情報は

- ・自ら申請しないと受けられないサービス、給付金など、知って得する情報がほしい。
- ・答弁に対する今後の展望やその後の動き(様子)や成果を載せてほしい。10年計画、実際に計画の何をしているのか、何ができて何ができていないのか、情報がないので提示してほしい。
- ・やまがた健康マイレージ事業やワンコインのがん検診等、健康に関する情報、若い方も興味を持つ情報をピンポイントに説明してみてもどうか。
- ・議会の傍聴ができなくとも、議会報を通じて、どのように議会で話し合われているのかが、理解できることが、一番の希望。議会報のように舟形町の議会が進められていると感じている。
- ・その月の各議員さんの具体的な活動内容、その時の写真、その後の成果・結果報告など、議員さんの活動報告をぜひ載せてほしい。

5、議会・町に対する要望、意見等

- ・年1回でいいので、町民に向けて困りごとのアンケートを取ってほしい。生活の中での困りごとの解決策が町づくりにつながると思う。
- ・もっと生活に密着した質疑が欲しい。
- ・定住促進住宅団地整備事業は、子育て支援住宅卒業後の世帯等を対象にとの考えだが、新しく結婚予定の(子どもがいない)世帯への対応も考慮してもらいたい。三世帯同居家族をとも思うが、現状若い方々は二人で過ごしたいと、近くの市町村で、との考え方が多いように感じる。良い条件での住宅があればと思う。
- ・議員さんには地域の活動には、自分の地域以外でも積極的に参加してほしい。特に、若いグループが中心になっているイベントには、来賓ではなく、一般の参加者としてきてほしい。

6、その他

- ・議会だよりをすみずみまで読んだのは初めて。町がどのように運営されているのかがわかり、特に予算の使い道は、興味深かった。
- ・町民の意見が議会に届いているのか疑問。(町民の意見と質問の内容にズレを感じる時がある)
- ・久しぶりにチャレンジデーを。
- ・3ページの舟形診療所の開業日の件で課長さんの回答。『4月1日に開業したいとの考えです』だけでは、本当に開業が4月1日になるのか、不安で不思議な回答に思った。『4月1日開業予定で、業務を進めております』となった方が、現実的に感じる。
- ・議会だよりは、モニターになるまで正直ちゃんと読んでいなかった。一年間、がんばりたい。



また、よろしく
お願いします。

数多くのご意見ありがとうございます。
編集委員会で検討して改善できるところから
行なっていきたいと考えています。
引き続き、ご意見をお願いします。

貴重な意見ありがとうございます。

議会報モニターより



舟形町議会では、議会だよりが町民の皆様との結びつきを強めることができるよう、町内在住の5名の方に議会報モニターを委嘱しています。

今回は議会だより178号(4月26日発行)に寄せられた意見や感想を掲載しました。今後も十分に参考にし、読まれる、伝えられる広報紙編集に役立てていきます。

1、表紙、見出しについて

- ・舟形クリニックの開業が周知され、良かった。
- ・毎年良くなってきていると思う。舟形クリニック無事オープンして良かった。
- ・舟形クリニックオープン、町民への情報発信もあり良かった。写真は少し固い印象を受けた。
- ・クリニックの入口でのオープニングセレモニーはできなかったのかと不思議に思った。
- ・以前の舟形診療所のイメージが消えてしまい、不安に感じた。
- ・鮮やかなカラーの写真で良い。うれしい話題なので、もっと笑顔の写真が良かった。見出しも「ホっとした」より、もっと前向きなコメントが適切だったと思う。

2、写真の扱い方

- ・表紙に続き、武藤先生の顔がわかり、良かった。
- ・どのページにも2~3枚ほど記事に合った写真が使用されていて良かった。
- ・内容と合っていてわかりやすい。
- ・バラエティーに写真の使い方をしていると感じた。写真の下にあるコメントで合わないと感じたのが、温泉大広間の大規模改修のところ。(工事中なのでしょうが、温泉の大広間なのか)
- ・写真も見出しもわかりやすい。各議員さんの顔が怖い。

3、紙面について

- ・項目ごとに一問一答式になっていて、興味のあるものから拾い読みができて良かった。
- ・「2年間、ありがとうございました」のところの、女神になった議員さんがユニーク。
- ・とても良く構成、編集されていると感じる。
- ・全体的に季節感がなく、表紙以外で何月号なのかわかりづらい。文字が多いのはしょうがないと思うが、質問と回答のフォントやサイズを変えるなど、工夫の余地はあると思う。

読みやすい紙面づくりを研修 町議会広報研修会(5月31日)

山形国際交流プラザで開催された第36回町議会広報研修会に参加し、議会広報サポーターの芳野政明氏による「住民参加を推進、信頼の確保 関心を高める情報発信 効果ある『議会だより』の編集」について研修を受けました。

講師からは、読みやすい紙面のレイアウト、町民参加の大切さ、わかりやすい見出しのつけかたなどを研修し、その後、県内11町村の広報紙に基づいたクリニック形式による説明を受けました。今回の研修を通して、町民目線で町民にとって関心の高い情報は何かを考え、紙面を作成することが大切であると感じました。これからは読みやすい議会だよりを目指し、努めていきます。



県内町村広報委員が編集について研修を受ける

議会のこだわり

- ▼4月1日 舟形クリニックオープン記念式典
転入教職員辞令交付式
ほほえみ保育園入園式
- 5日 舟形小学校入学式
- 6日 舟形中学校入学式
- 12日 議会報編集委員会
- 19日 議会報編集委員会
当選議員協議会
- 22日 舟形中学校春季大運動会
- 29日

- ▼5月2日 第2回臨時会(初議会)
- 5日 消防団春季消防演習
- 13日 第3回臨時会
- 20日 最上県懇話会
- 新庄湯沢地域間高規格幹線道路建設促進同盟会総会

- 21日 議会運営委員会
- 26日 舟形小学校運動会
- 27日 議会運営委員会
- 28日 議長・副議長全国研修会(28日~29日)
- 29日 主要地方道大石田畑線道路改良促進同盟会総会
- 31日 町議会広報研修会

- ▼6月3日 全員協議会
- 4日 6月定例会(4日~7日)
- 10日 最上地方町村議会議長会・山形県町村議会議長会臨時総会
- 12日 新庄湯沢地域間高規格幹線道路建設促進同盟会要望会(12日・13日・14日)
- 28日 議会報編集委員会

紙面の都合上、主な行事を抜粋し、掲載しています。その他、各地区行事等に参加しています。

「議会だよりふながた」の表紙写真を募集します。

「議会だよりふながた」を、住民参加型のより身近な広報誌とするため、表紙の写真を募集します。



- テーマ例：季節にあった舟形町の風景(4月、7月、10月、1月)、イベント、行事の写真や、人が何かを楽しんだりがんばったりしている姿の写真など。
- 応募方法：写真データを議会事務局へ持参するか電子メールで送付してください。
- 問合せ：舟形町議会事務局 32-0030(直通) gikai@town.funagata.yamagata.jp

見出し・写真の扱い方を学ぶ 全国町村議会広報クリニック(7月11日)

全国町村議会議長会主催による町村議会広報クリニックが、全国町村議会議員会館で開催されました。議会広報常任委員会委員5名と議長が参加し、グラフィックデザイナーの長岡光弘氏より研修を受けました。

今回は、「議会広報紙のクリニック視点」として、情報の流れに沿った紙面編集の仕方や住民にわかりやすい文章構成等の講義を受けた後、5町村の広報紙を参考に、見出しの付け方や写真の扱い方等について学びました。

今後、参考にすべき事項を積極的に取り入れ、町民の関心に沿った議会だよりを目指します。



構成技術の向上を目指して

ようこそ舟形町へ

最上地域ふるさと連合会舟形訪問
交流懇親会(7月7日)

首都圏で活躍する最上地域出身者で組織される「最上地域ふるさと連合会」の49名の皆さんが、ふるさと訪問として今年度は舟形町へお越しになりました。舟形町議会では、心からの歓迎の意を込め、舟形若あゆ温泉で、訪問された皆さんとの親睦を深めました。



あたたかいおもてなしと歓迎で盛り上がった懇親会

固定資産評価審査委員会委員の 選任に同意



佐藤 英明 氏
沖の原 (63歳)

任期は
令和元年8月 1日より
令和4年7月31日まで

表紙のごとば

7月1日に最上小国川の鮎釣りが解禁になり、町内をはじめ県内外から多くの太公望が集い、今年の初釣りを楽しんでいました。東北地方でも人気の高い、清流最上小国川の環境を大切に、舟形町の観光資源として大事にしていかなければならないと思います。



次回の定例会は

9月3日(火)
~11日(水)

までの予定です。

どなたでも議会を傍聴することができます。
皆さまの傍聴をお待ちしております。



今回は、一の関の渡辺信之介さんと結婚した、新庄市出身の知生（旧姓：會田）さんです。
皆さんよろしく申し上げます。

♥どんなきっかけで彼（ご主人）と知り合いましたか？
共通の知人の紹介

♥嫁いできて、舟形町での生活はどうですか？

自宅を住みよくするためのリフォーム中で、まだ住んではいませんが、今から住むのを楽しみにしています。

♥舟形町の良いところ・悪いところは？

良いところ 自然豊かで、人が温かいところ。子育て支援や医療支援、雇用促進等が充実しているところ。
悪いところ 特にないです。

♥舟形町に望むことはありますか？

商業施設がもう少し充実しているとうれしいです。

お願い

「えがったなあ」に出てみませんか。舟形町に嫁いでこられたお嫁さん・お婿さんを募集します。

(連絡先)

舟形町役場議会事務局
☎32-0030 (直通)

声

皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見・ご要望等、どうぞお気軽にお寄せくださるようお願いいたします。

私は、自動車部品製造業のキリウ山形に勤務しています。業務内容は、技術員として新規部品の立上げ、不良品対策や、コスト削減の合理化活動に取り組んでいます。

最近、高齢者の運転ミスによる痛ましい事故のニュースが多く報道されています。自動車部品製造業に携わる者として、安全装置の付いた車が早急に普及することを願っています。

議員の皆様にお話ししたいこととして、私もUターンした一人ですが、地方から都市部に若者が流出して、町で育てた優秀な人材が地元に残らない状況です。地方において、仕事人が人を呼び、人が仕事を呼び込む好循環な流れを生み出すことが、町を支え、活力を取り戻すと考えますので、企業誘致を議題として取り上げていただき、地元に残れる環境、また、舟形町から都市部に就職し、知識やスキルを身に付けた若者がUターンしたいと思うような魅力ある地域づくりをお願いしたいと思います。



大鳥 満さん
(舟形第3)

(議会より)
貴重なご意見ありがとうございます。議会として参考にさせていただきます。

編集後記

昨年8月の2度にわたる豪雨により小国川の河道が激変し、7月1日の鮎釣り解禁が心配されましたが、たくさんのお公望が訪れ町もにぎわってきたことに安堵しています。

5月1日に平成から令和に元号が変わり、町議会も選挙（無投票）により、2名の新人・8名の現職の構成でスタートしました。広報常任委員会も新構成になり、初めての議会だよりの発行です。議会報モニターや町民の皆様のご意見などを参考に、読まれる紙面、情報を伝える紙面づくりを目指していきますので、よろしく願います。

(伊藤 欽一記)

発行責任者

議長 八 欽 太
議会広報常任委員会
委員長 伊藤 欽 一
副委員長 小国 浩 文
委員 石山 和 春
委員 荒澤 広 光
委員 叶 内 昌 樹